

Urban Transportation Network (Yossi Sheffi, 1985) Chap.3 & Chap.4 (p.56~110)

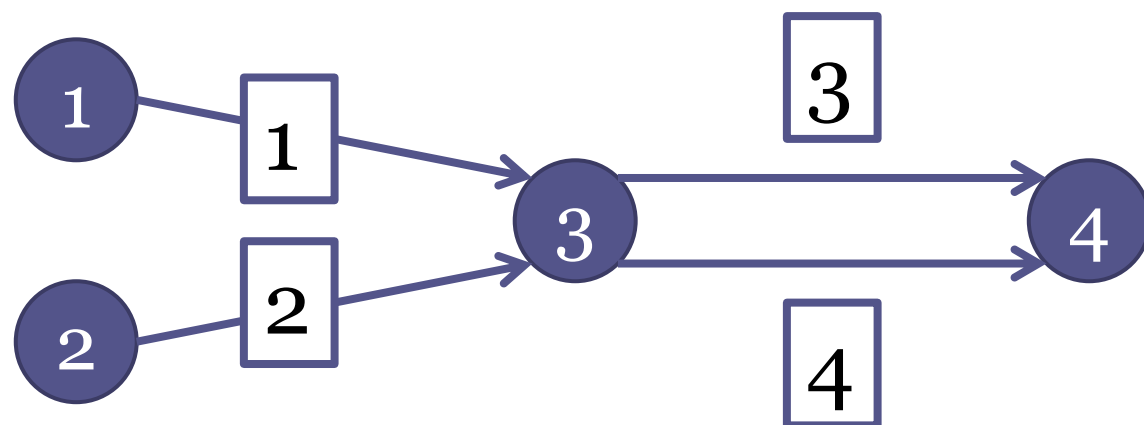
交通研究室 学部4年
日下部 達哉

Contents (Chap.3)

1. 交通網の表現方法
2. User Equilibrium
3. System Optimization
4. 両者の違いは？
5. Braess's Paradox

1. 交通網の表現方法

今回の例



- | | |
|-------|-----------------------|
| ①から④へ | リンク 1 → リンク 3 (ルート 1) |
| | リンク 1 → リンク 4 (ルート 2) |
| ②から④へ | リンク 2 → リンク 3 (ルート 3) |
| | リンク 2 → リンク 4 (ルート 4) |

1. 交通網の表現方法

変数の定義

q_{rs} ... 始点 R と終点 S の間の交通流量

x_a ... リンク A の交通流量

$t_a(x_a)$... リンク A の所要時間

f_k^{rs} ... 始点 R と終点 S を結ぶルート K の交通流量

c_k^{rs} ... 始点 R と終点 S を結ぶルート K の所要時間

1. 交通網の表現方法

変数の定義（つづき）

$\delta_{a,k}^{rs}$... 始点 R と終点 S を結ぶルート K に
リンク A が含まれる $\rightarrow 1$, 含まれない $\rightarrow 0$
 Δ ... 第 (a, k) 成分に $\delta_{a,k}^{rs}$ を入れた行列

1. 交通網の表現方法

リンク⇔ルート間の「交通流量」の関係

...あるリンクを通る全てのルートの交通流量の和が、あるリンクの交通流量。

$$x_a = \sum_r \sum_s \sum_k (f_k^{rs} * \delta_{a,k}^{rs})$$

$$\mathbf{x} = \mathbf{f} * \Delta^T \dots \text{ベクトル表記}$$

1. 交通網の表現方法

リンク⇔ルート間の「移動時間」の関係

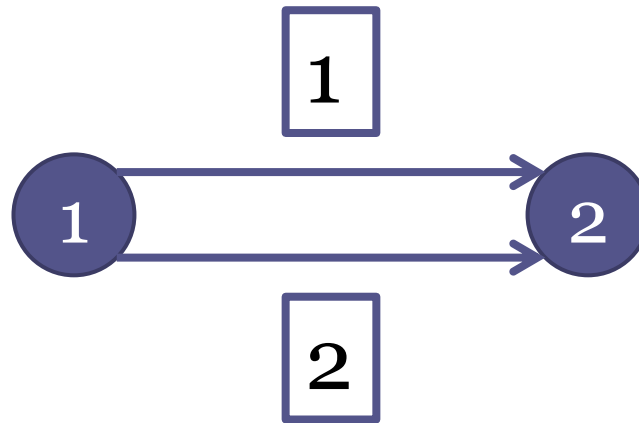
...あるルートが通る全てのリンクの移動時間の和が、あるルートの移動時間。

$$c_k^{rs} = \sum_a (t_a * \delta_{a,k}^{rs})$$

$c = t * \Delta$... ベクトル表記

2. User Equilibrium

今回の例



$$t_1(x_1) = 10x_1 + 10 \quad (\text{旧道})$$

$$t_2(x_2) = x_2 + 100 \quad (\text{バイパス})$$

$$x_1 + x_2 = 100$$

2. User Equilibrium

そのまま解くと...

$$\textcircled{1} \quad t_1 = 10x_1 + 10$$

$$\textcircled{2} \quad t_2 = x_2 + 100$$

$$\textcircled{3} \quad x_1 + x_2 = 100$$

$$\textcircled{4} \quad t_1 = t_2$$

$$x_1 = \frac{190}{11}, x_2 = \frac{910}{11}, t_1 = t_2 = \frac{2010}{11}$$

2. User Equilibrium

定式化すると...

$$\min. z(\mathbf{x}) = \sum_a \int_0^{x_a} t_a(\omega) d\omega$$

$$\text{subject to } \sum_k f_k^{rs} = q_{rs}, \quad f_k^{rs} \geq 0$$

個々人の移動時間を最小化

2. User Equilibrium

なぜ？

$$f_k^{rs} * \frac{\partial L(\mathbf{f}, \mathbf{u})}{\partial f_k^{rs}} = 0 \rightarrow \rightarrow f_k^{rs} * (c_k^{rs} - u_{rs}) = 0$$

$$\frac{\partial L(\mathbf{f}, \mathbf{u})}{\partial f_k^{rs}} \geq 0 \rightarrow \rightarrow c_k^{rs} - u_{rs} \geq 0$$

$$\frac{\partial L(\mathbf{f}, \mathbf{u})}{\partial u_{rs}} = 0 \rightarrow \rightarrow \sum_k f_k^{rs} = q_{rs}$$

2. User Equilibrium

これを解いてみると...

$$z(\mathbf{x}) = \int_0^{x_1} (10\omega + 10) d\omega + \int_0^{100-x_1} (\omega + 100) d\omega$$

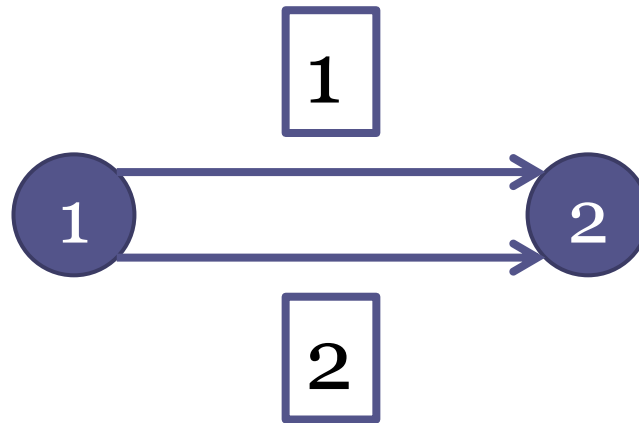
$$x_1 * (11x_1 - 190) = 0$$

$$11x_1 - 190 \geq 0$$

$$x_1 = \frac{190}{11}, x_2 = \frac{910}{11}, t_1 = t_2 = \frac{2010}{11}$$

3. System Optimization

今回の例



$$t_1(x_1) = 10x_1 + 10 \quad (\text{旧道})$$

$$t_2(x_2) = x_2 + 100 \quad (\text{バイパス})$$

$$x_1 + x_2 = 100$$

3. System Optimization

定式化すると...

$$\min. z(\mathbf{x}) = \sum_a (x_a * t_a(x_a))$$

$$\text{subject to } \sum_k f_k^{rs} = q_{rs}, \quad f_k^{rs} \geq 0$$

全体の総移動時間の合計を最小化

3. System Optimization

これを解いてみると...

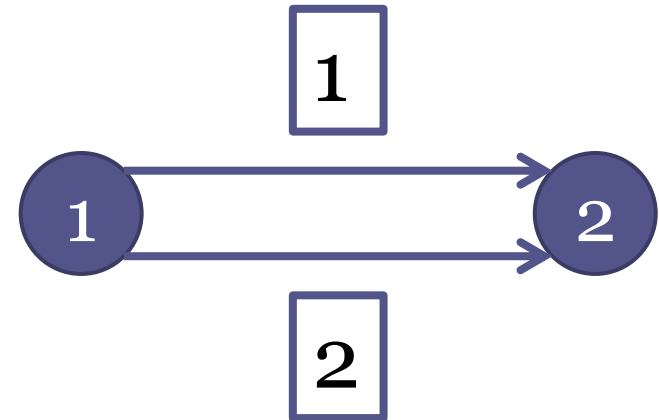
$$z(\mathbf{x}) = x_1 * (10x_1 + 10) + (100 - x_1) * (200 - x_1)$$

$$x_1 * (11x_1 - 145) = 0$$

$$11x_1 - 145 \geq 0$$

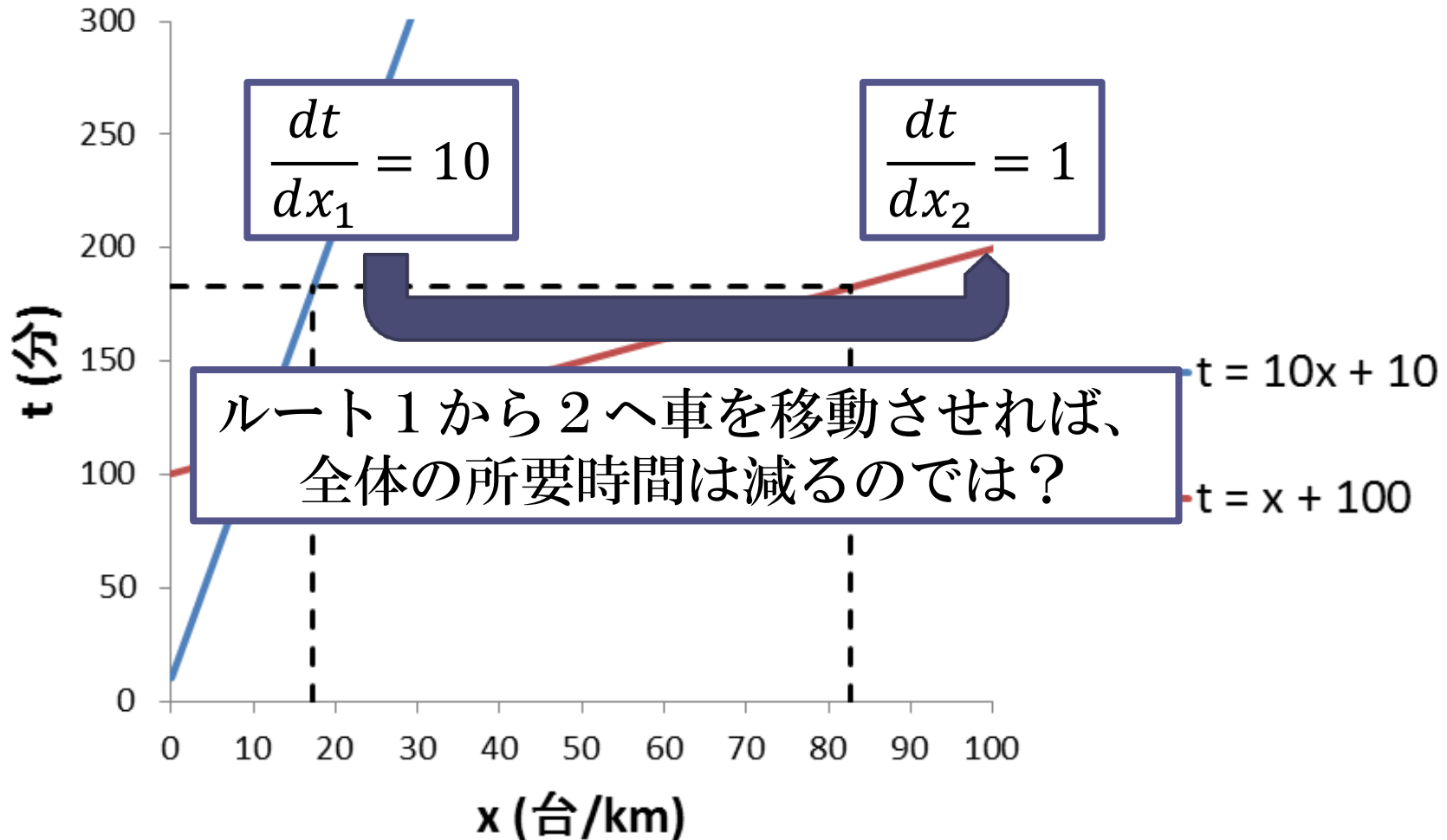
$$x_1 = \frac{145}{11}, x_2 = \frac{955}{11}, t_1 = \frac{1560}{11}, t_2 = \frac{2055}{11}$$

4. 両者の違いは？

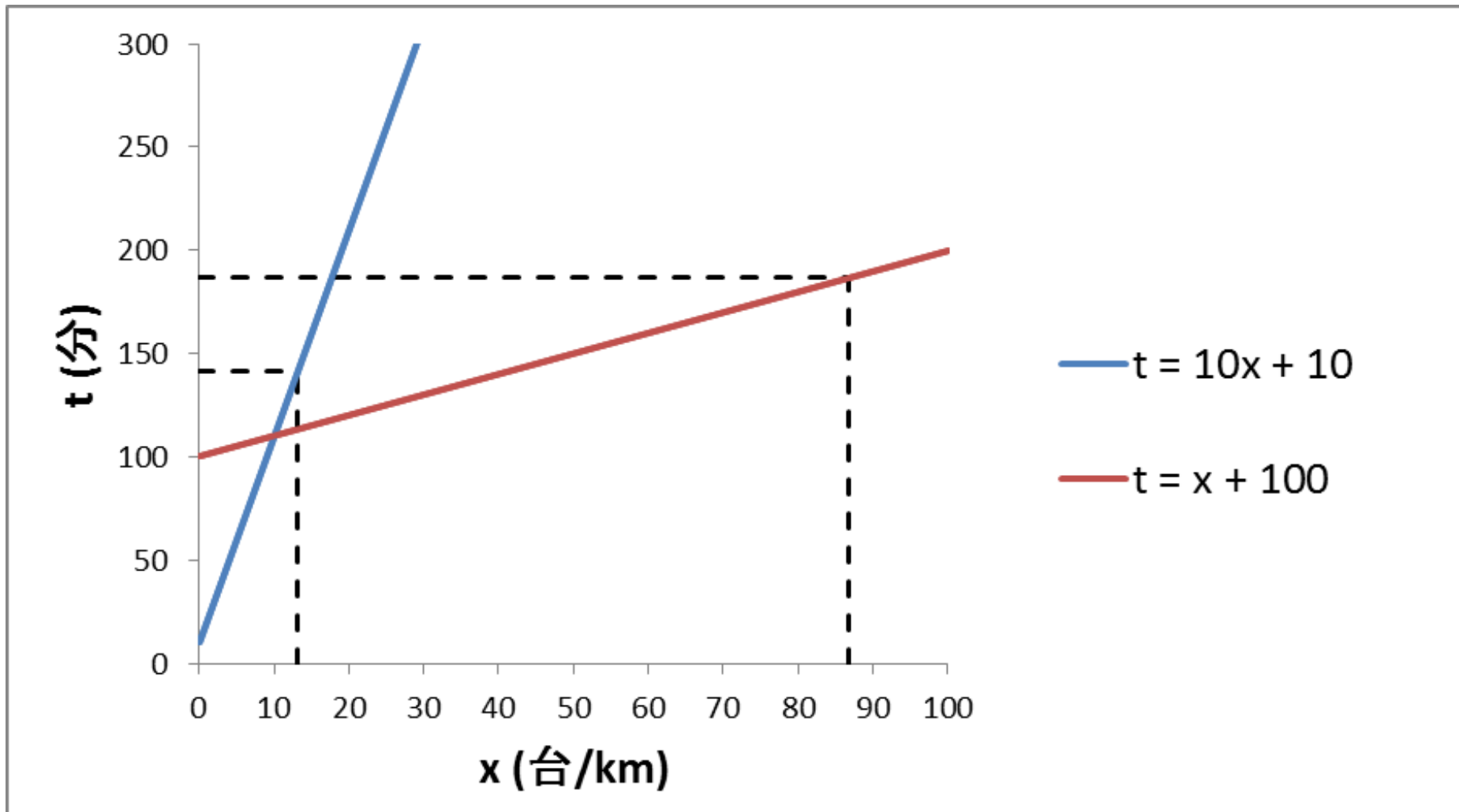


- UE...「個々人が」移動時間を最小化
→交通網全体として最適かということ...
- SO...「全体で」移動時間を最小化
→個々人にとって最適かということ...

User Equilibrium



System Optimization



System Optimization

ルート 1 で減少する総移動時間 ... $x_1 * \frac{dt}{dx_1}$

ルート 2 で増加する総移動時間 ... $x_2 * \frac{dt}{dx_2}$

道を変えた人が被る移動時間の増加 ... $t_2(x_2) - t_1(x_1)$

$$t_1(x_1) + x_1 * \frac{dt}{dx_1} = t_2(x_2) + x_2 * \frac{dt}{dx_2}$$

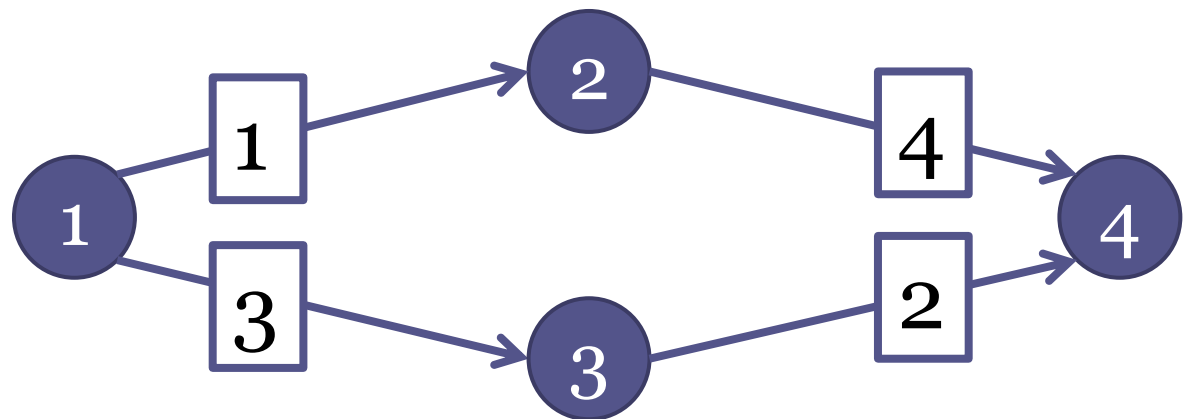
5. Braess's Paradox

- 道路ネットワークを拡張すると混雑がひどくなる、というパラドックス
- 最短時間で目的地に着こうとする
→新しくできた道へ人が「集まりすぎる」
- 道の利用を制限することで、全体の混雑が逆に緩和される、という可能性がある

5. Braess's Paradox

これを...

$$q_{14} = 6$$



$$t_1(x_1) = x_1 + 50$$

$$t_2(x_2) = x_2 + 50$$

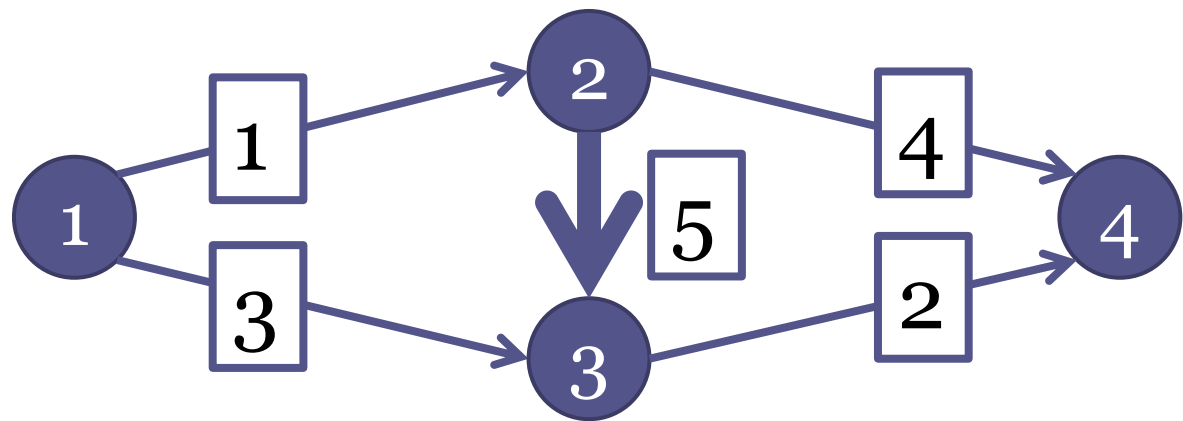
$$t_3(x_3) = 10x_3$$

$$t_4(x_4) = 10x_4$$

5. Braess's Paradox

こうする。

$$q_{14} = 6$$



$$t_1(x_1) = x_1 + 50$$

$$t_2(x_2) = x_2 + 50$$

$$t_3(x_3) = 10x_3$$

$$t_4(x_4) = 10x_4$$

$$t_5(x_5) = x_5 + 10$$

5. Braess's Paradox

道を作る前

$$\min. z(\mathbf{x}) = \sum_{a=1}^4 \int_0^{x_a} t_a(\omega) d\omega$$

$$\text{subject to } \sum_{k=1}^2 f_k = 6, \quad f_k \geq 0$$

$$(c_1, c_2, f_1, f_2) = (83, 83, 3, 3)$$

$$T_{total} = 498$$

5. Braess's Paradox

道を作った後

$$\min. z(\mathbf{x}) = \sum_{a=1}^4 \int_0^{x_a} t_a(\omega) d\omega$$

$$\text{subject to } \sum_{k=1}^3 f_k = 6, \quad f_k \geq 0$$

$$(c_1, c_2, c_3, f_1, f_2, f_3) = (92, 92, 92, 2, 2, 2)$$

$$T_{total} = 552$$

Contents (Chap.4)

6. 一変数の最適化アルゴリズム
7. 多変数の最適化アルゴリズム
8. 制約下での最適化アルゴリズム

6. 一変数の最適化アルゴリズム

Interval Reduction Methods

- 一定の決まりに従って、最小値を含みえない範囲を切り捨てていく
- 最小値を含みうる範囲が十分に狭くなった時点で、計算を終了する
- 関数が ditonic (単調減少／増加が一回だけ切り替わる) である必要あり

6. 一変数の最適化アルゴリズム

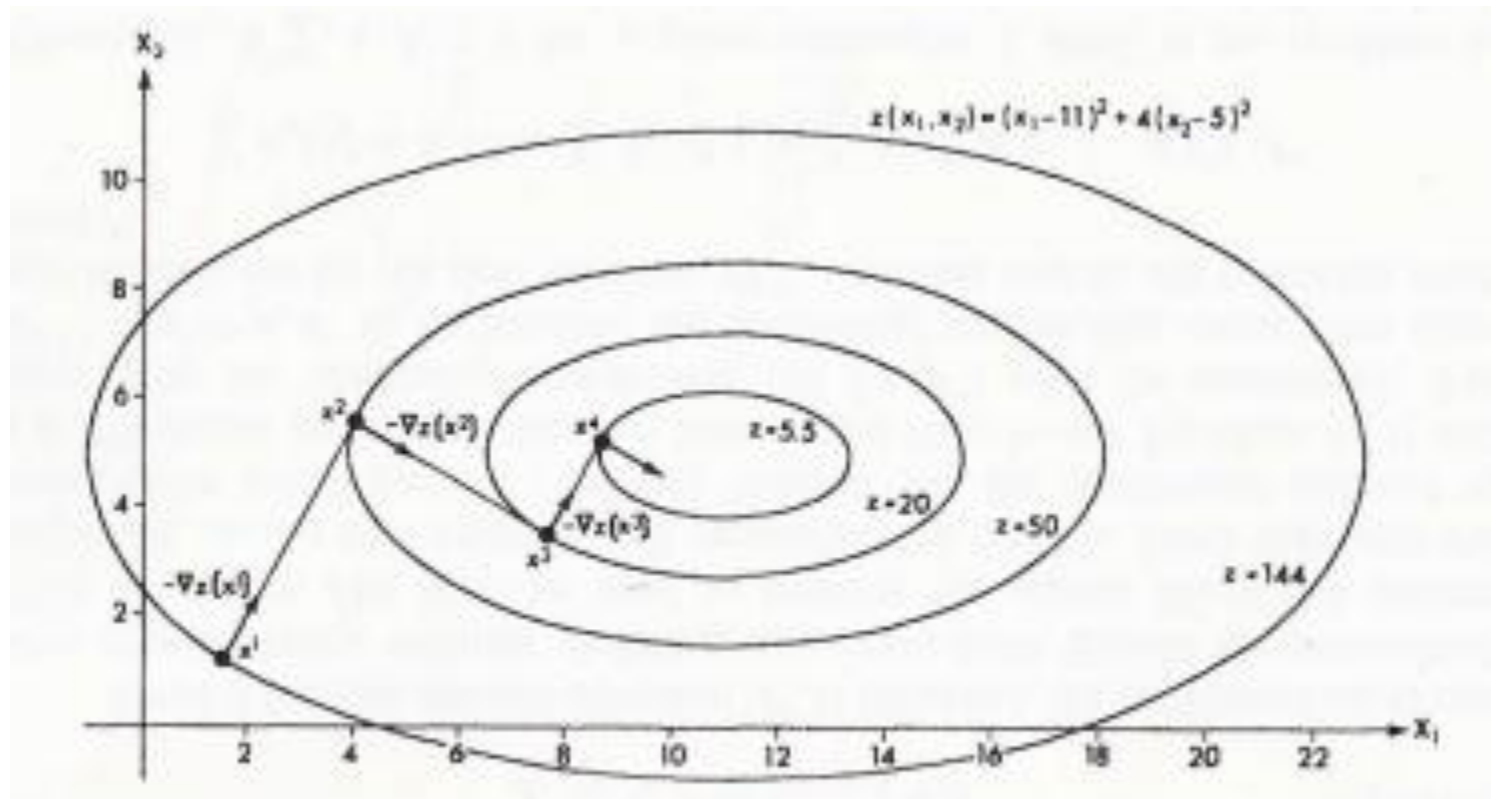
Curve-fitting Methods

- ある点において、対象となる関数に対して近似的な二次関数を求める
- その近似的な二次関数を最小にする点を、次の点とする
- 点が動く範囲が十分に狭くなった時点で、計算を終了する
- 関数が ditonic かつ smooth である必要あり

7. 多変数の最適化アルゴリズム

The Method of Steepest Descent

- ある地点で最も急勾配な方向へ移動を始める
- その方向での最小値に到着したら、
その地点で最も急勾配な方向へ移動を始める
- 点が動く範囲が十分に狭くなった、または
勾配ベクトルが十分に0に近づいた時点で、
計算を終了する



①方向を決める $\mathbf{x}_{n+1} = \mathbf{x}_n + \alpha_n \nabla z(\mathbf{x}_n)$

②位置を決める $\frac{d}{d\alpha} z(\mathbf{x}_{n+1}) = 0$

8. 制約下での最適化アルゴリズム 問題

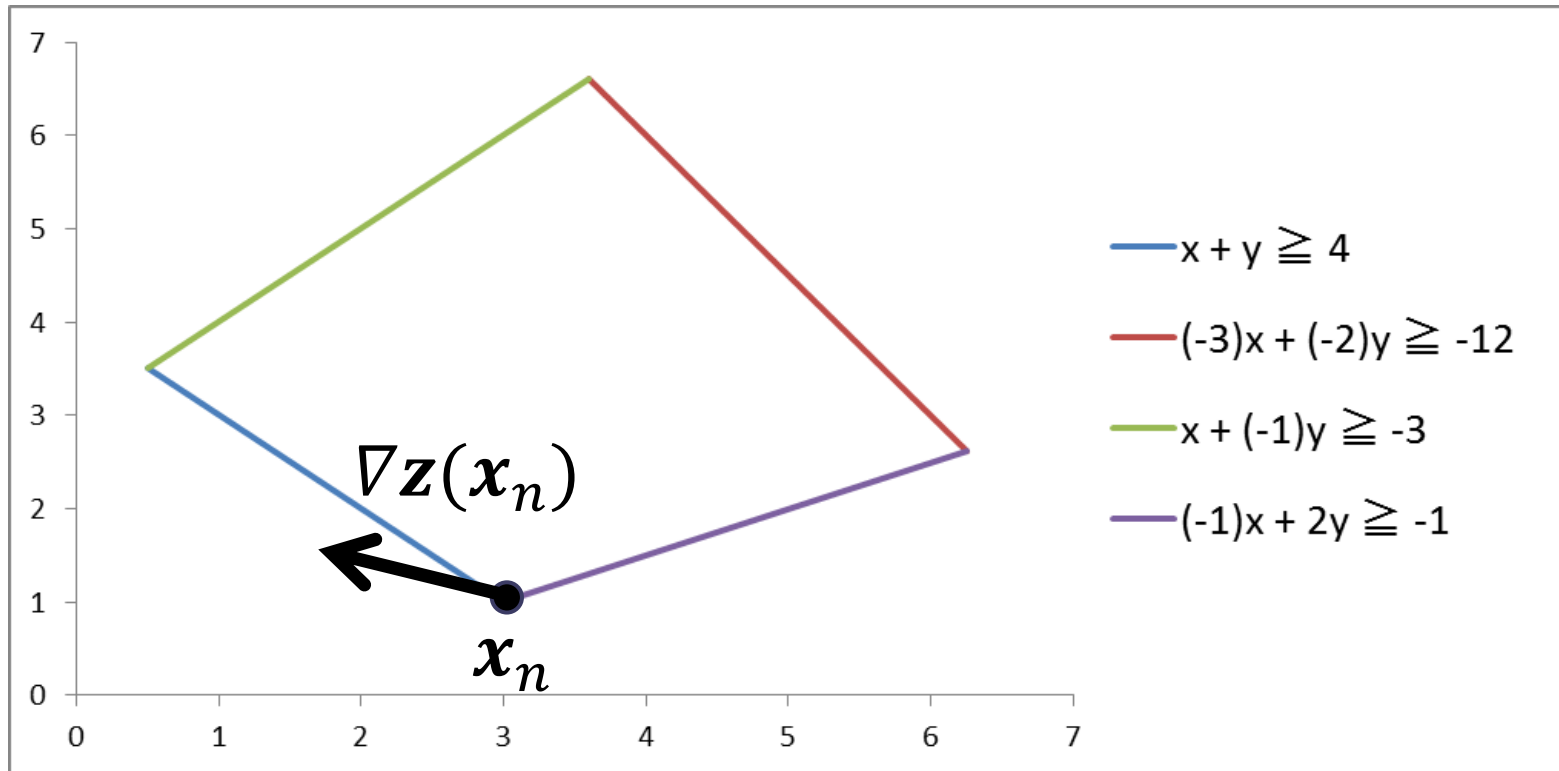
$$\min. z(\mathbf{x})$$

$$\text{subject to } \mathbf{h}_j * \mathbf{x} \geq b_j$$

($\mathbf{x}_{n+1} = \mathbf{x}_n + \alpha_n * \mathbf{d}_n$ と表すこととする)

8. 制約下での最適化アルゴリズム

① ベストな d_n の方向を探す



8. 制約下での最適化アルゴリズム

①ベストな d_n の方向を探す

$h_j * x_n = b_j \dots x_n$ が制約式 j の境界線上にある

$h_j * x_n > b_j \dots x_n$ が制約式 j の境界線上にない

d_n を探す際に重要なのは「前者」

$\dots x_n$ をほんの少し動かした時に、

破られるおそれのある制約は「前者」

8. 制約下での最適化アルゴリズム

①ベストな d_n の方向を探す

$$\min. \nabla z(x_n) * d_n$$

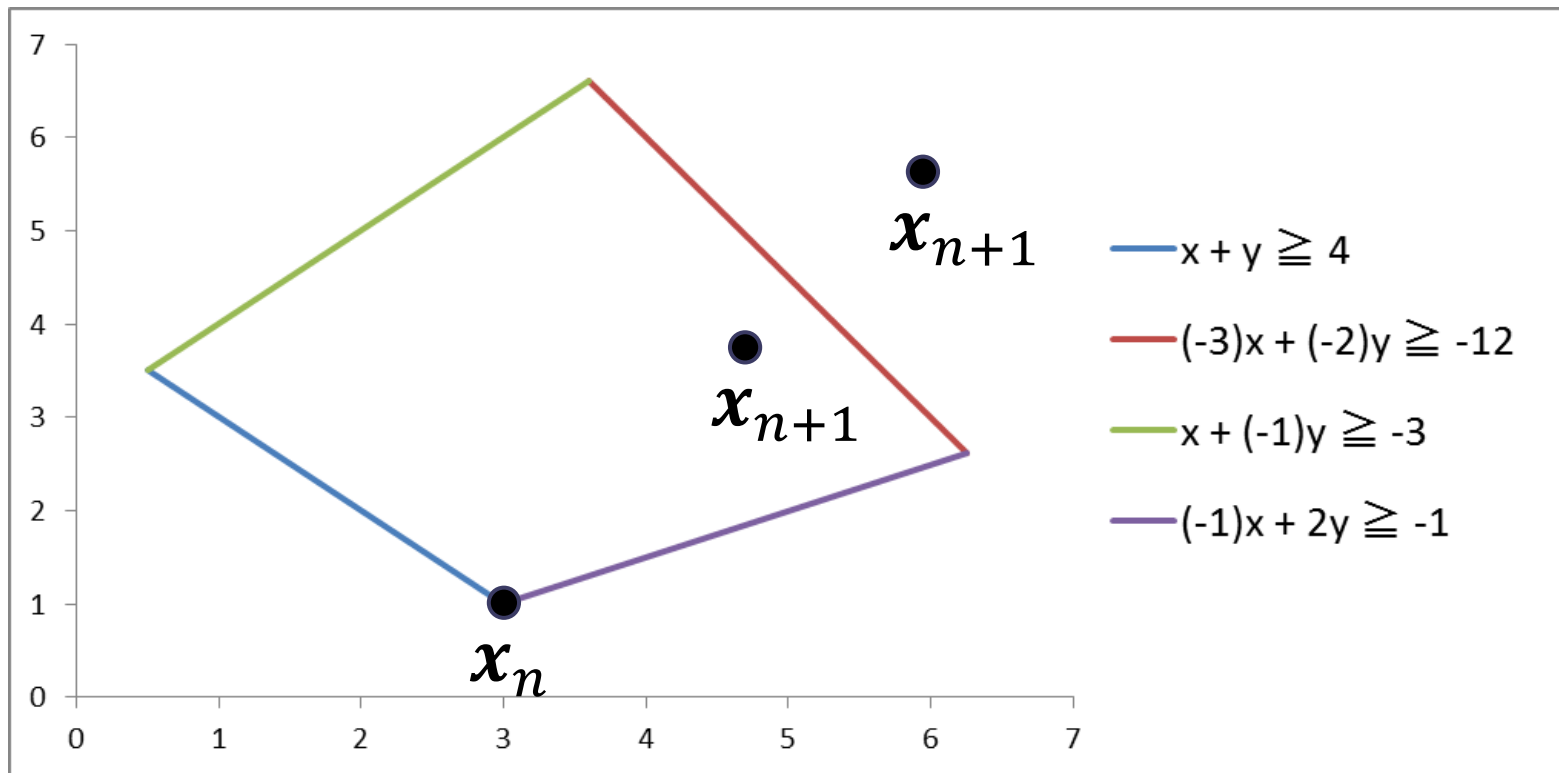
$$\text{subject to } h_j * x_n \geq b_j, \quad |d_n| = 1$$

これは $h_j * x_n = b_j$ を満たす j に関してのみ

どっちに行くかが決まった！

8. 制約下での最適化アルゴリズム

②守るべき α_n の範囲を探す



8. 制約下での最適化アルゴリズム

②守るべき α_n の範囲を探す

$\mathbf{h}_j * \mathbf{x}_n = b_j \dots \mathbf{x}_n$ が制約式 j の境界線上にある

$\mathbf{h}_j * \mathbf{x}_n > b_j \dots \mathbf{x}_n$ が制約式 j の境界線上にない

α_n を探す際に重要なのは「前者」
...「後者」の制約を満たさない場合、
そもそも d_n の設定が間違っている

8. 制約下での最適化アルゴリズム

②守るべき α_n の範囲を探す

$$\mathbf{h}_j * (\mathbf{x}_n + \alpha_n * \mathbf{d}_n) \geq b_j$$

$$\alpha_n^{max} = \min. \frac{b_j - \mathbf{h}_j * \mathbf{x}_n}{\mathbf{h}_j * \mathbf{d}_n}$$

これは $\mathbf{h}_j * \mathbf{x} > b_j$ を満たす j に関してのみ

8. 制約下での最適化アルゴリズム

②守るべき α_n の範囲を探す

$$\min. \mathbf{z}(\mathbf{x}_n + \alpha_n \mathbf{d}_n)$$

$$\text{subject to } 0 \leq \alpha_n \leq \alpha_n^{\max.}$$

どこまで向かうかが決まった！